

国指定史跡 永原御殿跡

本丸「玄関」周辺発掘調査現地説明会資料

令和8年3月14日(土)
野洲市教育委員会文化財保護課

【発掘調査の成果】

(1) 「玄関」・「御対面所」を裏付ける礎石群を確認

玄関に伴う縁は、石溜 (No.1・No.2) に東石が置かれていた可能性が高く、指図の配置と整合します。縁の南側では、位置関係から玄関の何らかの設備構造物の可能性がある石を2点検出しました。

御対面所推定地では、礎石・石列を多数検出しました。特に石 No.4 は加工が丁寧で側面には梵字のようなものが彫られています。これらのことからこの石は五輪塔から転用されたと考えられます。さらに西側でも石列 (石 No.7・8・9) を検出し、指図に描かれていない位置にも石が据えられていることが分かりました。これは、実際の施工や運用が指図と完全には一致しない可能性を示す重要な成果です。

(2) 「廊下」・「坊主部屋」および空白地 (中庭?) の位置を確認

御対面所の北東に位置する坊主部屋に関連するとみられる石として、石 No.10・11・12 を確認しました。また、御対面所側の礎石等には矢穴痕が見られない一方、石 No.10・12 には矢穴痕が確認でき、石材の調達・加工経緯の違いが示唆されます。御対面所の南東からは、御広間につながる廊下に関連するとみられる礎石として、石 No.13・14 を確認しました。坊主部屋と廊下の間は指図上「空白地」であり、中庭のような空間だった可能性が高いと考えられます。なお、この範囲から瓦が多く出土したことから、御殿の解体時に瓦をこの場所へ集中的に捨てた可能性が考えられます。

(3) 整地 (造成) の方法を示す地層を確認

永原御殿の造成にあたっては、大規模な整地工事が行われたとみられます。今回の調査では、その一端を地層から確認できました。礎石の下を精査したところ、礎石直下に砂礫層 (排水性の高い層) が敷かれ、その下に黄色で硬く締まった粘土層が堆積していました。これにより「硬い粘土層で地盤を締め固めたうえで砂礫を敷き、途中で礎石を据え、さらに礫を加えて整えた」という造成手順が想定されます。ただし、整地層の範囲や造成の段階差など、未解明の点も残るため、今後の重要な検討課題です。

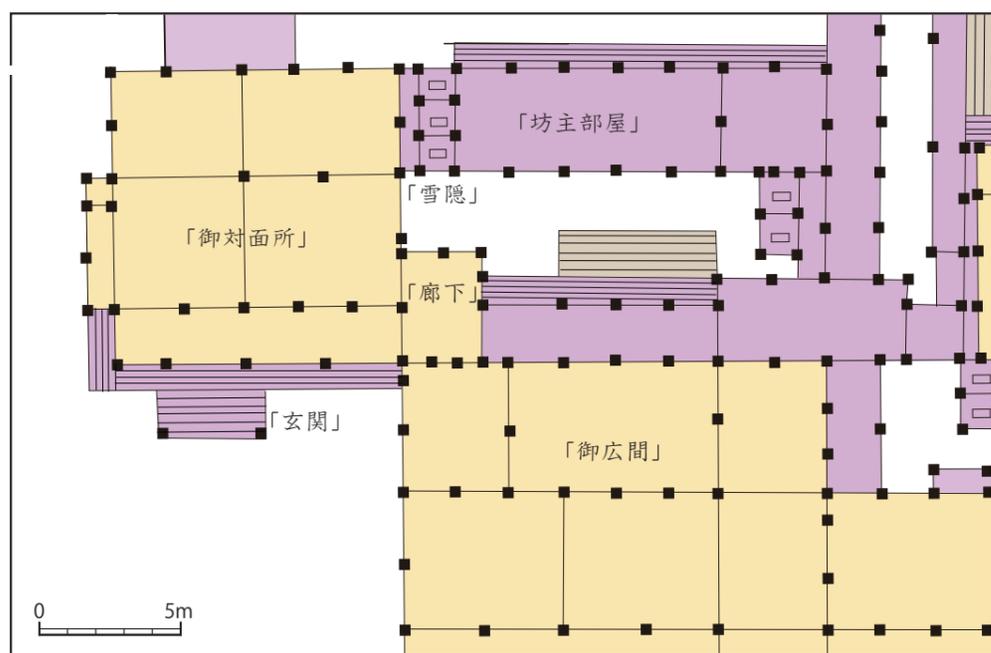
【まとめ】

今回の発掘調査により、中井家指図に基づいて想定される位置関係のもとで、玄関・御対面所・坊主部屋・廊下

に関わる礎石や石列が確認され、指図と整合する具体的な手がかりが得られました。

また永原御殿の整地工事の一端を確認できたことも大きな成果といえます。

以上のようにこれまでの本丸内調査の蓄積と合わせ、本丸御殿の全体像解明に向けて、前進となる成果を得ました。



永原御殿「玄関」付近の「指図」と発掘調査区 ※戊六月七日「江州永原御茶屋御指図」IVを翻刻・透写

【はじめに】

慶長5年(1600)の関ヶ原合戦で勝利した徳川家康は、慶長8年(1603)に江戸幕府を開きました。しかし当時、政治の重要な舞台は引き続き上方にもあり、京都には朝廷と公家、大坂には豊臣家が存在していました。そのため将軍は情勢に応じて京都へ向かい、上方で政務を行う必要がありました。

将軍の上洛は軍勢を伴う大規模な移動であり、途中で宿泊・滞在するための拠点が必要でした。そこで、江戸から京都へ至る主要ルート上で、近隣に大名の城郭などが無い場所には、将軍が利用する施設として「御殿」や「御茶屋」が新たに整備されました。このうち、京都からおおむね1日

の行程にあたる地点として、中山道脇街道の永原と東海道の水口には特に大規模な御殿が造営されました。野洲郡永原に設けられた宿館が、いわゆる「永原御殿」です。永原御殿は、寛永11年(1634)の第三代将軍・徳川家光の上洛に合わせて拡張されたことが知られています。

現在、地表面から確認できる遺構は、主にこの家光期の姿であることが分かっています。

平成29年度からの総合調査を経て、永原御殿跡は令和2年3月に国史跡に指定されました。令和7年度は、大工頭中井家に伝わる当時の建築図面である「指図」に記された、本丸の「玄関」推定位置とその周辺を発掘調査しました。



永原御殿跡 位置図



永原御殿復元模型 (野洲市歴史民俗博物館常設展示) 本丸「玄関」(南側から)



永原御殿復元模型 本丸「玄関」・「御対面所」(西側から)
(野洲市歴史民俗博物館常設展示)

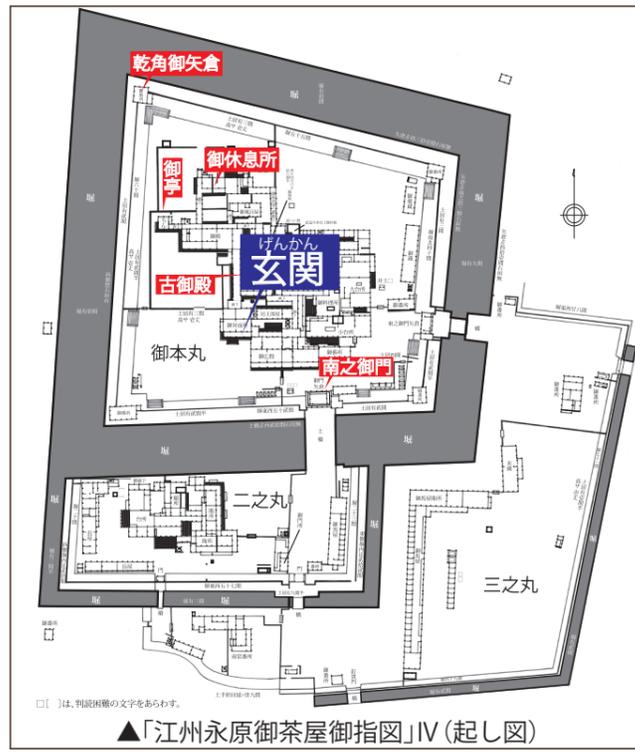
【調査地】 滋賀県野洲市永原字馬場/内 国指定史跡永原御殿跡 本丸「玄関」推定地周辺

【調査面積】 約 200 m²

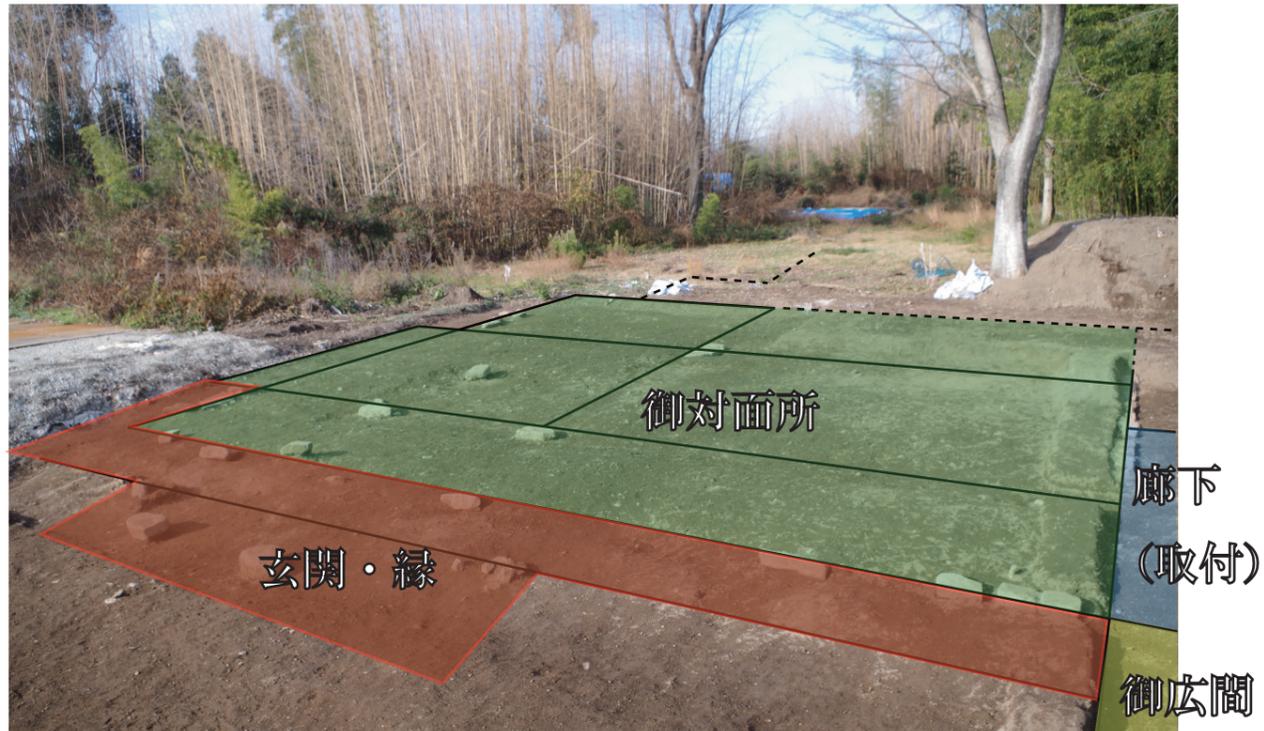
【調査期間】 令和7年4月～令和8年3月



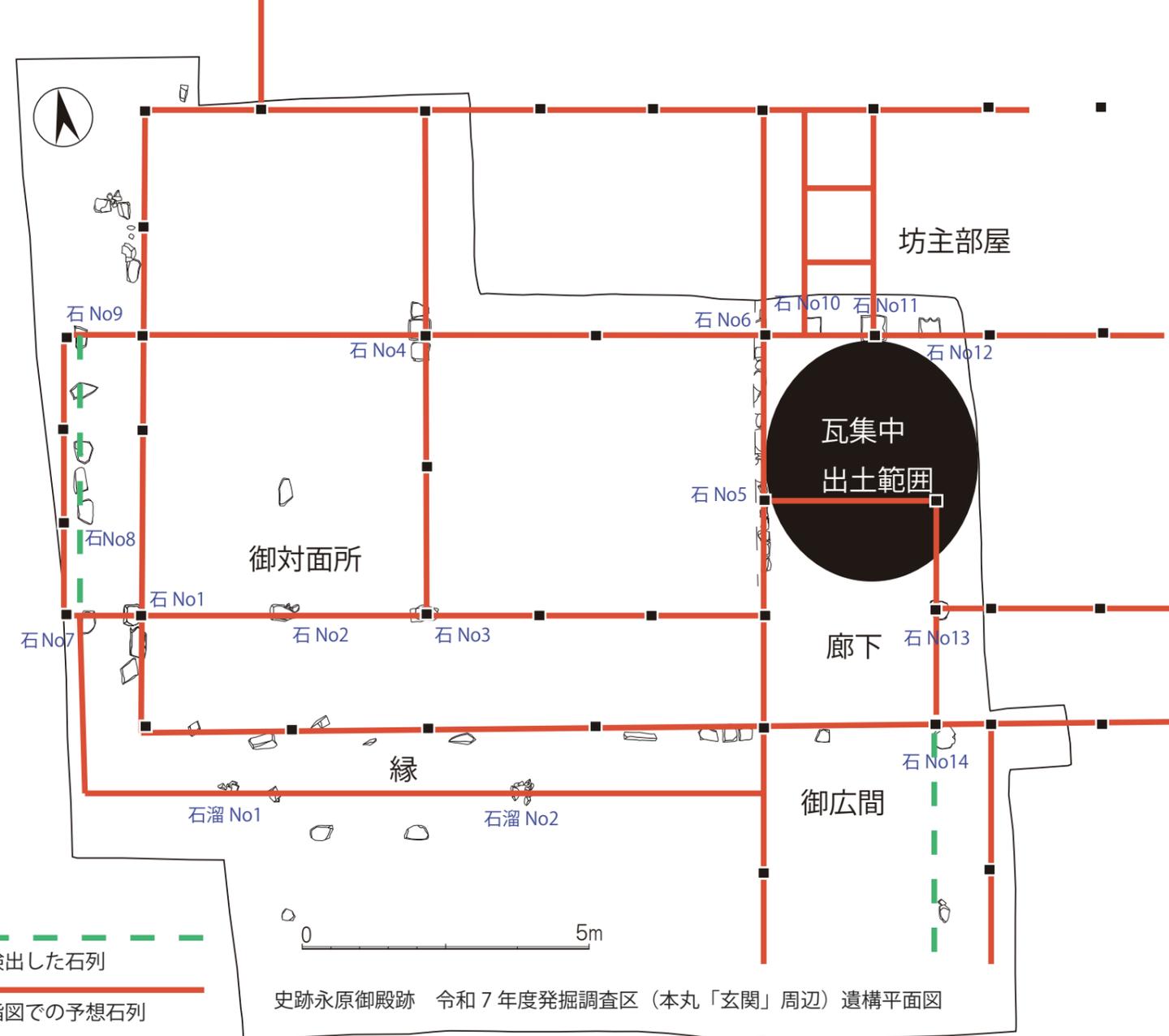
▲史跡永原御殿跡 位置図



▲「江州永原御茶屋御指図」IV(起し図)

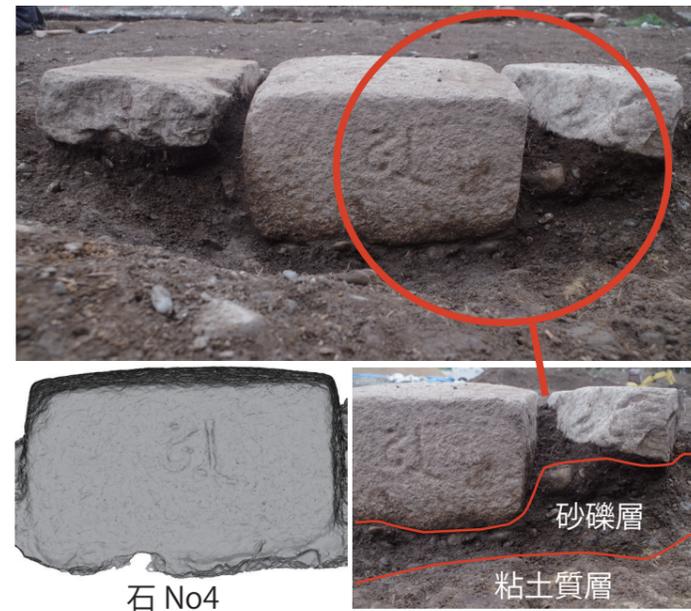


令和7年度発掘調査「玄関」「御対面所」推定地 調査区全景 (南東から)



検出した石列
指図での予想石列

史跡永原御殿跡 令和7年度発掘調査区(本丸「玄関」周辺)遺構平面図



石 No4



石 No5